

くまのこだより



令和5（2023）年9月1日（金）発行

赤磐市桜が丘東 6-6-704

さくらが丘保育園

『個と集団』

昨年度もですが、個性豊かなこどもたちの個性を大切にしながらクラスとしてのまとまりをどう作っていくのかとても悩み考えます。こどもたちが育つ家庭環境、その子の発達段階、それぞれ違うのは当たり前、そのあたり前を私自身がどこまで受け入れ、ありのままの姿を認められるか考えることがあります。頭では分かっていますが実際、毎日こどもたちと接する中で、葛藤があるのは事実です。どんな活動が今このクラスのこどもたちにとってよいのか、こどもたちが喜々としてかかわる活動は何かを考えたり、同僚に相談したりしながらクラス運営をしています。

毎日をこどもたちと過ごす中で心と心がピタッと合った瞬間は、何物にもかえがたい最高の感覚です。それが保育の醍醐味なのかもしれません。そんな瞬間は毎日あるわけではなく、時にやってきて私にエネルギーを与えてくれます。

こうしたい、こんな活動をしたい、もっとできると思う、と思うこともありますが、それは私のエゴなのかもしれません。熱い思いを送ってもこどもたちは我関せず、にこにこ自分のしたいことに一直線です。私ができることは、こどもたちの前を走って先導するのではなく、こどもたちが伸びていくのを周りでサポートしたり、後押ししたりすることかもしれません。園行事として今月はそら組キャンプ、10月は運動会、11月はほし組お泊り保育があります。一人ひとりのこどもが行事を越えるたびに大きくなるのが楽しみです。ほし組としてもクラスとしての成長が見られることを信じて、楽しみにしています。

土屋 勇気



おしらせ掲示板

- ・プール、水遊びの準備、ありがとうございました。こどもも大人も名残惜しい様子でしたが、プール納め・水あそび納めを行いました。まだ暑い日が続きますので、シャワーは引き続き行います。ビーチバックの中に、タオル・着替え一式・ビニール袋の準備をお願いします。
- ・おまかせシステムを使ってのお知らせは見ていただけていますでしょうか？機種によっては、最新10件しか見られないこともありますので、大事な情報はスクリーンショットして保存されることをお勧めします。

今月の行事『そら組キャンプ』 今月の歌『風と光と子どもたち』

国立吉備青少年自然の家で、1泊2日（9月7日～8日）の日程で、自然豊かな中でアスレチックを楽しんだり、キャンプファイヤーをしたり、ハイキングをしたりします。

冒険や生活を共有し、人と人との交わりの中で、自律性や自主性の芽生えを培うことを目的としています。

そらにまたたく ほしたち
うみにあそぶ さかなたち
はなをとびかう むしたち
みんな すてきな ともだちさ
とおいそらから みつめているんだ
あおいうみから よんでいるんだ
いつでも きみのこと
あいしているって
うらうらうラララ
うらうらうラララ

この歌詞を見たりうたったりするたびに、保育園の園庭のこどもたちの姿が目浮かびます。生き生きと、自分の好きな自然と関わっているこどもたちは、キラキラしています。
かわいい振付もあります。
覚えたいな～

すずらんのお知らせ

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。ご家庭に非常用品や救急箱は、備えてありますか？緊急時に持ち出せるよう準備や備えをすると安心ですね。



救急箱の中身、 チェックしてますか？

CHECK!

☐ 絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



☐ はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。



☐ 体温計



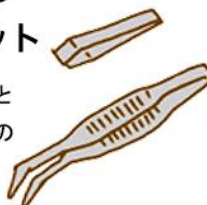
☐ ガーゼと 医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



☐ 毛抜きや ピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



☐ 常備薬

（虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど）



救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。



そらにじゃんぷ



太陽と水と土～そら組～



毎日暑いですがこどもたちは暑さに負けず戸外あそびを楽しんでいます。最近はどうろんこあそびが好きなこどもたち。砂場に行くと手で砂を掘り、道をつくったり泥だんごつくったりして夢中で行っています。友だちと協力し砂場全体に大きな道をつくり、水を流すと大きな川ができあがり大はしゃぎのこどもたちです。

玉置 七彩

わたしとこといとすずと



太陽と水と土～ほし組～



プールの中からプールサイドにいるボランティアのお兄さんと水の掛け合い大会をしました。こども同士で「エイエイオー」と太陽の下で空に向かって手をあげて、一致団結。カっぱい水を掛け合いました。この夏限定のプールでいろいろなあそびをしました。水の心地よさを身体全体で思いっきり楽しみました。

土屋 勇気

太陽と水と土～つき組～

毎日水あそびやどろんこを楽しんでいるこどもたち。水鉄砲に水を入れると友だちと横に並び、空に向かってうちあげます。太陽が照っている日はうちあげた水で虹が見えることもあります。夏ならではのあそびの回数が増えるごとにこどもたちのあそびのレベルも上がってきています。こどもたちの発想には驚かされることばかりです。

竹内 和羅

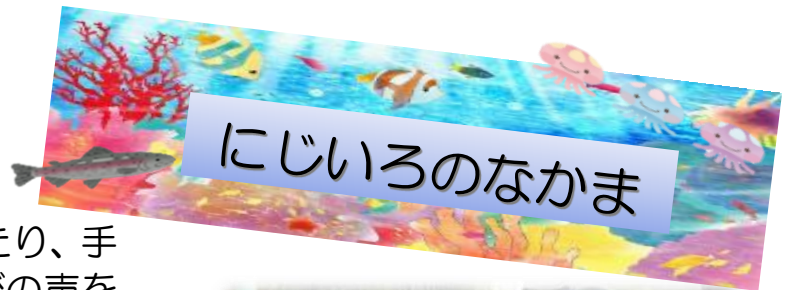


太陽と水と土 ～にじぐみ～

ホースから水を流すと、頭からかぶったり、手を出して触ったりして、「きゃ～」と喜びの声をあげています。その水を土にかけると、土が柔らかくなって、水の色も変わる。そんな大人にとっては普通のことですが、こどもたちにとっては新鮮で面白い発見がいっぱいでした。

どろんこあそびをはじめて最初の頃は、手や足、服が汚れるのが嫌な子も多かったのですが、保育者や友だちが楽しそうに遊んでいる姿を見ているうちに、自分もやってみようという気持ちになり、少しずつ慣れていきました。「どろんこ服に着替えよう」と誘うと、我先にと、自分でどろんこ服を取りに来るこどもの瞳はキラキラしていました。水でふやけた土を素足で踏みしめ「なあなあせんせ、ここきもちいいー」と、知らせるなど、他の人に伝えて楽しさを共有する姿を見て、大きくなったなあと感じた夏でした。

谷口あい



はなみずき ゆきうさぎ



ゆきぐみ

少し水が怖いかなと思っていましたが、水あそびを楽しんでいます。毎日暑いので冷たい水に触れることが気持ちいいようです。

下山 静菜



太陽と水と土 ～はなゆきぐみ～

はなぐみ

最初は水に触れると涙が出てしまう子もいましたが、何回も水に触れるうちに楽しみながら水あそびをすることができました。

岸下 天音

